



信州発・これからの図書館フォーラム

都道府県立図書館サミット 2019

— 都道府県と基礎自治体の関係：『協力』のスタンダードを築く —

を開催します。

近年、都道府県立図書館はソフト・ハードの両面における変革の動きが全国的に盛んになっています。しかし、その「あり方」についての議論は必ずしも深まっているとはいえ、特に基礎自治体との関係性については各県でまちまちなのが現状です。

そこで、全国の都道府県立図書館館長ほか関係者が一堂に会して議論し、学びあう機会とするために2016年に長野県において初開催されて以来3年ぶりに「都道府県立図書館サミット2019」を開催することとなりました。開かれた場である「信州・学び創造ラボ」で行われますので、どなたでも見学いただけます。

都道府県立図書館サミット 2019

- 日 時：令和元年8月25日(日) 10時～17時30分
- 会 場：県立長野図書館3階「信州・学び創造ラボ」
- 参加者：全国の都道府県立図書館館長ほか関係者約150名
- プログラム



「都道府県立図書館サミット2016」(開催地：塩尻市)の様子

10:00	基調講演	話者：山崎博樹(元秋田県立図書館副館長)
-11:30	「秋田県立図書館の支援・協力とはなにか」	
11:30	セッション#1 論点整理	進行：福島幸宏(東京大学大学院情報学環特任准教授)
-12:00	「秋田県から学べること」	
13:00	セッション#2 キーノートクロストーク	話者：岡本真(アカデミック・リソース・ガイド株式会社代表取締役・共同実行委員長)、平賀研也(県立長野図書館長・共同実行委員長)
-13:30	「なぜ、いま都道府県立図書館サミットか」	
13:30	セッション#3 都道府県立図書館レポート	話者：清家智子(宮崎県立図書館)
-14:15	「生涯学習課での6年から一宮崎県の図書館行政」	
14:30	セッション#4 都道府県立図書館レポート	話者：大野浩(島根県立図書館)
-15:15	「隠岐諸島での図書館設置100%達成の舞台裏」	
15:30	セッション#5 都道府県立図書館レポート	話者：福島幸宏
-16:15	「都道府県立図書館の使命を再定置する」	
16:30	セッション#6 ラップアップ	進行：新出(富谷市図書館準備室参事)、小澤多美子(県立長野図書館)、福島幸宏ほか
-17:30	「各都道府県立図書館で何を取り入れ、いつから始めるか」	

- 主催 / 共催：都道府県立図書館サミット2019実行委員会 / 県立長野図書館
- 後援：長野県 公益社団法人日本図書館協会
- 協賛：アカデミック・リソース・ガイド株式会社 株式会社カーリル

※詳細は当館HP
をご覧ください。



問合せ先

教育委員会事務局 文化財・生涯学習課総務係
(課長)小林 司 (担当)刈間 勇斗
電話 026-235-7439(直通)
026-232-0111(代表) 内線 4424
FAX 026-235-7493
E-mail bunsho@pref.nagano.lg.jp

県立長野図書館
(館長)平賀 研也 (担当)小澤 多美子
電話 026-228-4939(企画協力課直通)
026-228-4500(代表)
FAX 026-291-6252
E-mail ken-tosho@library.pref.nagano.jp



— 確かな暮らしが営まれる美しい信州 —
学びと自治の力で拓く新時代
しあわせ信州創造プラン2.0(長野県総合5か年計画)推進中
学び応援キャラクター「信州なび助」
©長野県教育委員会信州なび助